

JP utility model publication No. 53-45155

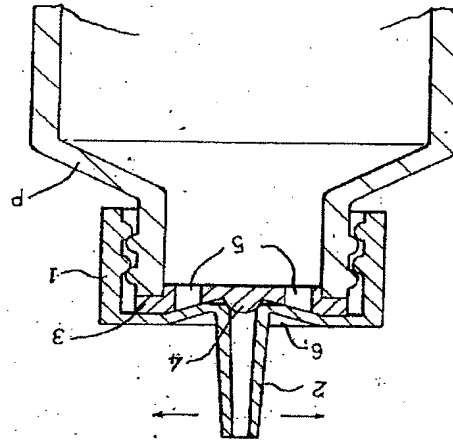
Title: Plug for Pouring out a Liquid

(Translation of page 2, line 8 to page 3, line 3:)

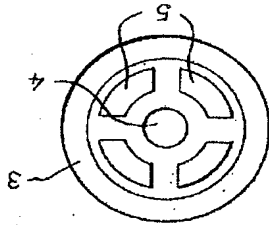
The inner portion of closure 1 closes an outlet 5 of central plug 3. Portion 6 of the pouring out cylinder 2 is concavely curved such that the closure 1 abuts on the central plug 3. A valve seat part 4 of said central plug 3 is spherically shaped in order to securely close the pouring out cylinder 2.

As shown in fig. 1 the pouring out cylinder 2 is generally in its closed position and no content of the bottle can leak out if the central plug 3, as closure 1 is mounted upon the opening of the container P. As shown by arrows in fig. 1 the opening 5 of said central plug 3 and the pouring out cylinder 2 are opened if forces are applied in a transverse direction to the pouring out cylinder 2 and the container is kept in an inclined position. If no transversal forces are applied to the pouring out cylinder 2 the pouring out cylinder 2 returns to its original position due to its elasticity.

Explanation: This reference merely discloses a closure which has an inwardly curved membrane in a closed position. In the opening position the inwardly curved membranes is lifted from its valve seat. However, it is not at all disclosed that the membrane resnaps into an outwardly curved open position.



第1図



第2図

出栓。

至周囲に透孔5を有する中栓3とから成る液体注  
を閉じる閉塞部4を有し且つ該閉塞部4の近傍乃  
軟質合成樹脂等の柔軟材で形成された注出筒2  
付蓋体1と、適宜材料で形成されて前記注出筒2

⑤美用新案登録請求の範囲

図面の簡単な説明

図面は本考案に係る液体注出栓の実施例を示し、  
第1図は縦断側面図、第2図はその中栓の平面図  
である。  
1……蓋体、2……注出筒、3……中栓、4……  
閉塞部、5……透孔。

④液体注出栓

②実 願 昭51-124920  
②出 願 昭51(1976)9月17日  
②考 案 者 後藤幸之

東京都江東区大島3の2の6

②考 案 者 斉藤忠雄  
株式会社吉野工業所内  
①出 願 人 株式会社吉野工業所  
東京都足立区千住河原町112  
東京都江東区大島3の2の6

審査請求 未請求

⑥Int. Cl.<sup>2</sup> B 65 D 47/20 識別記号 ⑦日本分類 133 A 333 ⑧日本整理番号 6862-38 ⑨公開 昭和53年(1978)4月18日

# 公開実用新案公報

昭53-45155

⑩美用新案出願公開

⑨日本国特許庁





実用新案登録願

昭和51年9月17日

特許庁長官 殿

1. 考案の名称 液体注射器

2. 考案者

住所 東京都江東区大島3の2の6  
氏名 株式会社 吉野工業所内  
後藤 孝之 (外1名)

3. 実用新案登録出願人

住所 東京都江東区大島3の2の6  
氏名 株式会社 吉野工業所

代表者 吉野 弥太郎 殿

4. 添付書類の目録

- (1) 明細書
- (2) 図面
- (3) 願書副本
- (4)

1 通  
1 通  
1 通  
(通)



51 124020

53-45155

明 細 書

1. 考案の名称 液体注出栓

2. 実用新案登録請求の範囲

軟質合成樹脂等の柔軟材で形成された注出筒2  
付蓋体1と、適宜材料で形成されて前記注出筒2  
を閉じる閉塞部4を有し且つ該閉塞部4の近傍乃至周囲に透孔5を有する中栓3とから成る液体注  
出栓。

3. 考案の詳細な説明

本考案は液体注出栓に係るものである。

従来、注出筒を有する容器の蓋体は、蜂密容器等に用いられ周知である。この種のもは、普段注出筒にキヤツプが嵌着され、容器中の内容物を注出する際にこれを取り外すが、この場合うっかりキヤツプを嵌めわすれることがあり、その際容器が転倒すると内容物が流出してしまふ欠点がある。

本考案は上記のようなキヤツプをなくし、而も常時閉口されて、使用時にはワツタツチで注出できるようにし、上記従来の欠点を除き、且つ便利

にしようとするものである。

以下、図示の実施例について説明する。

図示のものは、軟質合成樹脂等の柔軟材で形成された注出筒2付蓋体1と、適宜材料で形成されて前記の注出筒2を閉じる閉塞部4を有し且つ該閉塞部4の近傍乃至周囲に透孔5を有する中栓3とから成るものである。

そして、蓋体1の内面は中栓3の透孔5を閉孔するようにし、且つ蓋体1が中栓3に十分弾性を以て圧接されるように蓋体1の注出筒2の周囲6を窪ませている。また、中栓3の前記閉塞部4は球面状に形成し、注出筒2を確実に閉じることができるようになっている。

而して、第1図に示すように、中栓3と蓋体1を重ねて、容器Pの口部に取付ければ、普段注出筒2は閉塞されて容器Pが如何なる姿勢になろうとも内容物が流出するようになく、また、内容物を注出する際は、第1図に矢印で示すように、注出筒2に横方向から力を加えて傾向けられ、中栓3の透孔5は開孔し、注出筒2が開孔して、

内容物を注出することができる。注出筒2は横方向に加えていた力をなくせば、注出筒2は自らの弾性で復帰し、再度閉口する。

従つて、キヤツプ等は不要であり、而も常時閉口され、不意の内容物流出はなく、操作はワシタツチで極めて便利であり、構造簡單で安価であり、美用上頗る有益である。

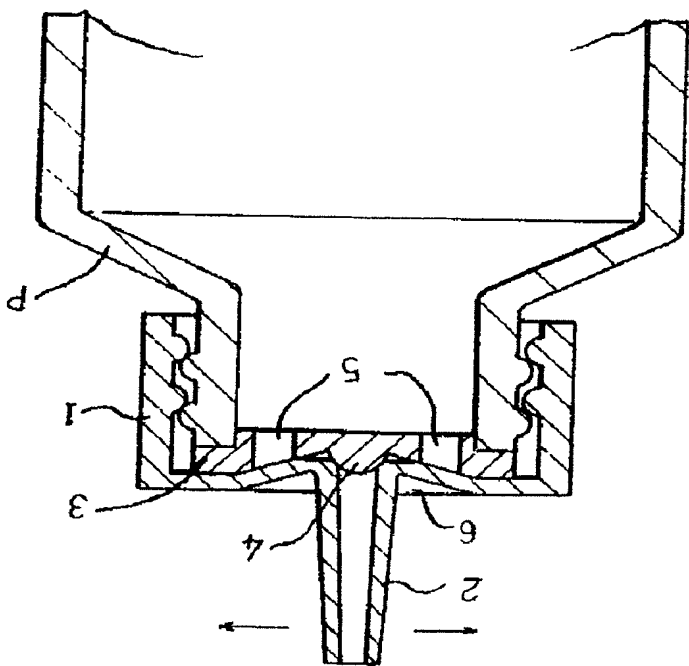
#### 4. 図面の簡単な説明

図面は本考案に係る液体注出栓の実施例を示し、第1図は縦断側面図、第2図はその中栓の平面図である。

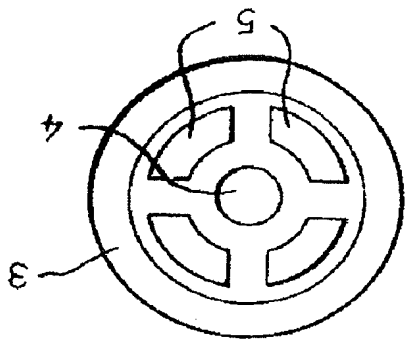
- 1…蓋体
- 2…注出筒
- 3…中栓
- 4…閉塞部
- 5…透孔

美用新案登録出願人 株式会社吉野工業所  
代 表 者 吉 野 彌 太 郎

第1圖



第2圖



45155

出願人 株式会社 吉野工業所  
代表者 吉野 弥太郎



5. 前記以外の考案者

氏名	住所
菅 育 藤 忠 才 雄	〒100-0001 東京都千代田区千代田 1 2

5-3-45155